

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 扶桑町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											今後の展開・改善点等	備考				
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価						目標①		目標②	
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果			満足度	補足	目標①	目標②
巡回・窓口相談指導事業	一般的に経営基盤の弱い小規模零細企業を中心に経営指導員等の商工会職員が事業所へ訪問し融資等の金融相談・申告時期の税務相談・労務相談等経営全般について様々な相談への指導をすることにより、健全な企業を育成するとともに、創業予定者を始めとした経営全般に係る相談窓口の設置により、経営改善に資する指導を行う。	・巡回窓口指導実企業数270社 ・巡回窓口指導延件数629件 ・課題解決提案案件数13件 ・経営力向上計画3件 ・先端設備導入計画3件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 89.9 %)	指標	課題解決提案案件数 (達成度 65.0 %)	事務局長職員の人員不足の影響により、巡回窓口相談及び課題解決の件数については当初予定していた目標を下回ってしまったが、経営力向上計画、先端設備導入計画支援などの経営を発展させる支援を実施することができた。	総合評価						A	事業実施評価				
記帳継続指導事業	商工会の職員が、個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結び付ける。	・指導対象者数45人 ・指導延日数257日 ・指導延回数589回	小規模事業者	指標	記帳指導事業者数 (達成度 100.0 %)	指標	(達成度 %)	事業者の記帳能力の向上を図り、会員事業者が正しい税務知識を習得することで、経営力を強化することができた。	総合評価	A	事業実施評価	A	調査結果	A	満足度	補足	目標①	目標②	来年度5月より記帳指導職員1名、記帳指導員1名の計2名体制で今年度目標に取り組む。	
講習会開催事業	事業者を取り巻く経営環境、社会環境の変化に対応してもらうべく、新たな知識を習得する場所を提供する。特に、施策情報の提供などを強化することで、事業者の新たな取り組みへの支援を強化する。	講習会開催数及び受講予定者数 ・個別講習会 8回 139人	小規模事業者	指標	個別講習会参加者数 (達成度 106.9 %)	指標	(達成度 %)	講習会事業を実施することにより、労務・税務に関する具体的な支援を実施することができた。また、講習会を通して、経営に関する知識やインボイス制度などの情報提供を行うことができた。	総合評価	A	事業実施評価	A	調査結果	A	満足度	補足	目標①	目標②	引き続き、小規模事業者からのニーズが高い税務・労務を中心とした内容の講習会を現行どおり実施していく。	
雇用促進事業	若年者に対しては、自己の適正や就業経験等に応じた職業選択並びに就職に関する知識や能力の向上を図る機会を提供する必要があることから、地元企業の紹介と各企業の人材確保をサポートするため、行政、商工会、商工会議所が主体となって開催する企業合同説明会を開催。イベントにあわせて若年者を対象に就職に関する個人相談会、就職支援セミナー、職業適性診断等の事業を実施し、求職活動中の若年者の職業人生設計やキャリア形成を支援することを目的とする。なお、5月、10月に開催する大口町・扶桑町合同就職フェアについては、よりモトでの実施を予定している。	・第1階大口町、扶桑町合同就職フェア 時期 5/26 (木) 場所 大口町役場2階会議室 参加者数30人 参加事業者数32社 ・3市2町(犬山・江南・岩倉・大口・扶桑)合同就職フェア 時期 9/14 (水) 場所 犬山市民交流センターフロイデ4階フロイデホール 参加者数98人 参加事業者数24社 ・第2回大口町、扶桑町合同就職フェア 時期 10/13 (木) 場所 大口町役場2階会議室 参加者数14人 参加事業者数28社	中小・小規模事業者、若年求職者	指標	セミナー参加者数 (達成度 101.4 %)	指標	参加延事業者数 (達成度 140.0 %)	大口町、扶桑町合同就職フェアについては昨年引き続きオンラインでの開催となった。地域企業と求職者を結びつけることができた。5月と10月の2回開催したものの、10月については求職者の数が伸びなかった。	総合評価	B	事業実施評価	B	調査結果	B	満足度	補足	目標①	目標②	大口町、扶桑町の合同就職フェアについては、昨年同様、オンラインを6月、現地開催を7月に実施する予定。3市2町の就職フェアは現状の形で9月開催を予定。	○
共同販売促進事業	地域商業・サービスの核であるイオン扶桑店並びに犬山市と連携を図り、共同で地域特産品販売事業を展開することにより、広く消費者を集めて、消費の喚起を図り、商業者の販売について面的な広がりを支援する。	・イオン扶桑店周年記念物産展「扶桑・犬山フェア」事業 時期 7/15 (金)～18 (月) 場所 イオン扶桑店 参加事業者数 9社	イオン扶桑店、会員企業及び地域の消費者	指標	物産展参加事業者数 (達成度 450.0 %)	指標	(達成度 %)	イオン扶桑店、犬山市との連携による共同開催により、商圏消費者の購買意欲の喚起を図ることができた。また、参加店舗について、創業5年未満の事業者が4店舗あり、特にそれら事業者の販路拡大・開拓において効果的な支援を図ることができた。	総合評価	A	事業実施評価	A	調査結果	A	満足度	補足	目標①	目標②	令和4年度の参加事業者の実績を踏まえて、目標を上げる。また、実施方法については、引き続きイオン扶桑店と犬山市との地域連携を図りつつ現行どおり実施する。	

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 扶桑町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考						
				目標①			目標②			得られた効果	総合評価	実施評価	A B C D評価			目標①		目標②			
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値				自己評価			調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	目標①
IT促進事業	情報通信技術を活用して、会員企業にとって有益な経営情報を発信したり、ビジネスチャンスの拡大や、経営の質を高めるための取り組みを実施し、商工業の活性化に寄与する。また、外部に対して商工会の活動内容を発信することで、商工会のPR活動を行う。	・ホームページによる情報発信 内容 扶桑町商工会の会員情報やイベント等について情報発信 実績 ホームページアクセス数39,757件 Facebookリーチ数 2184件	会員企業及びホームページ閲覧者	指標 ホームページアクセス数 (達成度 99.9 %)	4000	実績数値 39757	指標 facebookへのリーチ数 (達成度 62.4 %)	3500	実績数値 2184	SNSやホームページを通じて中小企業への情報提供及び地域外への情報発信を行うことができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 調査結果 A 満足度 A 補足 必要性 B	目標① 上げる	目標② 下げる	Facebook、LineなどのSNSを活用しながらHPへの導線を確認することにより、情報発信を高めたい。					
産業団体指導事業	柏森展覧会・扶桑展覧会の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては扶桑町内の商業の活性化に資することを目的とする。	・展覧会支援事業 内容 季節ごとに行う販売促進イベントの支援 実績 柏森展覧会員数59名 扶桑展覧会員数91名	柏森展覧会・扶桑展覧会	指標 柏森展覧会会員数 (達成度 84.3 %)	70	実績数値 59	指標 扶桑展覧会会員数 (達成度 91.0 %)	100	実績数値 91	地域の商業の活性化を担う商業団体を支援することにより、地域経済の活性化を促すことができた。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 B 調査結果 A 満足度 A 補足 必要性 B	目標① 下げる	目標② 下げる	目標数値・実施方法ともに現行どおり行う。今後イベントなどの支援を継続していく。また、フランチャイズなどの勧誘を促進していく。					
税務関連団体指導事業	小牧法人会扶桑支部の税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、適切な納税を推進するとともに、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となる。	・税金クイズ 時期 10/29（土） 場所 オイオン扶桑店 ・新春講演会 時期 2/12（日） 場所 大町市民会館 小牧法人会扶桑支部会員数 176名	小牧法人会扶桑支部	指標 小牧法人会扶桑支部会員数 (達成度 97.8 %)	180	実績数値 176	指標 (達成度 %)			地域の商工業者が加入する小牧法人会扶桑支部の支援を通して納税に対する啓発活動を行うことができた。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 B 調査結果 A 満足度 A 補足 必要性 B	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	目標数値を現行どおり設定し、他団体に加入している法人事業者をターゲットに勧誘を行うことで会員数増加に取り組む。					
創業支援事業	新規創業者は、創業に伴う、知識・経験などが不足しているようなケースも多くみられる。そのような創業者の創業計画の策定支援や資金計画支援などの事業の立ち上げに伴う支援はもとより、創業後、事業が軌道に乗るまでに廃業してしまう状況があることを踏まえて、創業者に寄り添った形でバックアップできるような支援体制を整えていく。	・3市2町（犬山・江南・岩倉・大口・扶桑）創業支援セミナー 時期 10/22（土）13:00～16:30 場所 江南市民文化会館 参加者 11名 ・創業ハズオン支援 時期 随時 場所 商工会窓口および事業所 創業相談者6件、内3件創業	小規模事業者	指標 創業セミナー参加者数 (達成度 73.3 %)	15	実績数値 11	指標 新規創業者数 (達成度 100.0 %)	3	実績数値 3	創業支援セミナー・創業ハズオン支援ともに、地域の創業予定者に対して基本的な経営知識・情報を提供することができた。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 B 調査結果 A 満足度 A 補足 必要性 B	目標① 上げる	目標② 現行どおり	創業支援セミナーについては、来年度より2市2町（江南・岩倉・大口・扶桑）となるが、目標値・実施方法は現行どおりとする。また、創業ハズオンについても目標値・実施方法は現行どおりとする。					
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定を図るために、各種共済制度の普及等、企業の健全な育成に資することを目的とする。	・共済促進事業 内容 小規模企業共済加入者95名、セーフティ共済加入者8名、中小企業退職金共済加入者2名、特定退職金共済加入者32名、中小企業共済217名、計354名	会員企業の事業主及び従業員	指標 各種共済加入者延人数 (達成度 98.3 %)	360	実績数値 354	指標 (達成度 %)			経営者の不測の事態に備えた保証を提供する役割を担うことで、加入事業者の経営力強化に資することができた。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 B 調査結果 A 満足度 A 補足 必要性 B	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	確定申告時期の指導時に決算書の内容を踏まえて、加入促進に取り組む。					
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続を行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	・労働保険事務代行事業 内容 労働保険料の申告納付と各種届出等の事務手続の代行 労働保険事務組合委託事業所 22企業	労働保険事務組合員	指標 事務組合委託事業者数 (達成度 88.0 %)	25	実績数値 22	指標 (達成度 %)			コロナの影響による事業縮小により委託事業所が減少したが、労働行政と協力をしながら雇用保険・労災保険の事務を代行することにより、社会保険事務の適正化と普及に寄与しつつ、労働環境の整備を図ることができた。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 C 調査結果 A 満足度 A 補足 必要性 B	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	巡回・窓口相談において労働保険の加入勧奨・周知を強化し、目標・実施方法ともに現行どおりとする。					

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 扶桑町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考		
				目標①			目標②			得られた効果			A B C D評価				今後の展開・改善点等	
				指標	達成度	実績	指標	達成度	実績	総合評価	事業実施評価	調査結果	満足度	補足	目標①		目標②	
地域産業祭事業	扶桑町主催ふそう町民まつり事業に伴い商工会員事業所による商品即売会と会場特産品の販売及び地元製造事業者による工業製品の展示会等を実施し商工業の振興と地元町民の心のふれあいを深め地域活性化に寄与することを目的とする。	・ふそう町民祭り（70周年記念事業） 企画事業 時期 10/29（土） 場所 イオン扶桑店 内容 事業実行委員との協議の結果、展示・販売会ではなく、税務啓発事業（税金クイズ）と会場運営として企画。参加事業者数 税務啓発事業12企業 会場運営6企業 合計18企業	会員企業及び地域住民	指標	参加事業者数 (達成度 90.0 %)	指標	(達成度 %)	当初は展示・販売会の実施を予定していたところ、税務啓発事業と会場運営での企画となったが、老若男女問わず参加できる税金クイズを通して、地域住民とのふれあいを深めるとともに、会場運営を行うことで、地域への社会貢献に寄与することができた。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 必要性 A B	満足度 A B	補足	目標① 廃止 実施方法①	目標② 廃止 実施方法②	令和5年度に関しては町民まつり等地域の産業祭事業の計画がないため、事業計画から外すこととする。
青年・女性部事業	青年部・女性部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	・青年部事業 内容 視察研修をはじめ、ご当地商品の開発、地域イベントへの参加 青年部員数14名 ・女性部事業 内容 視察研修をはじめ、セミナーの開催、地域イベントへの参加 女性部員数45名	青年部員及び女性部員	指標	青年部部員数 (達成度 56.0 %)	指標	女性部部員数 (達成度 100.0 %)	事業後継者や共同経営者としての資質向上を図るために研修活動や地域貢献を中心とした活動を実施していく。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 必要性 B B	満足度 A B	補足	目標① 下げる 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	女性部については、視察研修のみならず、昨年試験的に実施した扶桑文化会館におけるイベントを継続する予定である。
セミナー事業	経営発達支援計画に基づき、金融機関と合同によるセミナー事業を実施する。事業計画策定に繋げる刺激策を充実させることにより、経営計画の策定事業者のバイを増やしていく。	・セミナー事業 内容「経営計画作成セミナー」「売上アップのためのIT基礎講座」 時期 令和4年4月～令和5年2月 全2回 参加者延人数25名	中小・小規模事業者	指標	参加者延人数 (達成度 41.7 %)	指標	(達成度 %)	コロナ禍における今後の企業経営のためのセミナーを実施することにより、参加事業者の経営計画策定への意欲向上を図ることができた。しかし、本年からリアルでの開催へと戻したものの、講師、事務局等のコロナ罹患などもあり、十分にセミナーを実施することができなかった。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価 C 目標達成度 C	調査結果 必要性 A B	満足度 A B	補足	目標① 上げる 実施方法①	目標② 実施方法②	来年度は、「販路開拓」を実現するための「従業員教育」に力点を置いたセミナーをシリーズものとして実施していく予定である。
女性向実践型創業セミナー事業	経営発達支援計画に基づき、創業者に必要な知識の提供から実際の運営までをサポートする。1ヵ月程度座学のセミナーを実施し、その後、イオンモール扶桑において創業実習を行う。	・女性向実践型創業セミナー 時期 9/6～10/4 毎週火曜日（全5回） 場所 セミナー：扶桑町商工会・チャレンジショップ；イオンモール扶桑 参加者 セミナー：14名 チャレンジショップ：延べ17名	女性創業者・創業希望者	指標	参加者数 (達成度 140.0 %)	指標	(達成度 %)	セミナー・チャレンジショップを通して、創業のインキュベーション機能に加えて、地域内における女性創業者、創業予定者の掘り起しを図ることができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 必要性 A B	満足度 A B	補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 実施方法②	きめ細かい支援を行うため、定員（10名）を決めて実施し、目標数値・実施方法は現行どおりを行う。
展示会出展事業（一部国補助金を活用予定）	経営発達支援計画に基づき、扶桑町内における製造業を中心に技術力や商品力のPRの機会として展示会への出展を行うことで、販路の拡大を支援する。	・展示会出展事業 内容 メッセナゴヤ2022への出展 時期 11/16～18 参加企業数4社	中小・小規模事業者	指標	参加企業数 (達成度 100.0 %)	指標	(達成度 %)	経営発達支援計画に沿った形で、地域内において地域資源を有効に活用している事業者や独自の技術を持つ事業者を支援した。参加企業にとっては受注機会の拡大に繋がった。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 必要性 A B	満足度 A B	補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 実施方法②	来年度も引き続き、リアルとオンラインのハイブリット型で実施予定であるため、今年度のように事前セミナーを実施して臨む予定である。
若手後継者等育成事業	地域の小規模事業者において、事業の継続・発展には次期経営者となる若手後継者の資質向上が必要不可欠である。本年度は、青年部員を中心とした若手経営者・後継者の資質向上を図るテーマのセミナーを5日開催する。	・青年部資質向上セミナー 内容 青年部を中心とした若手経営者・後継者に必要な資質向上を図るテーマでのセミナーを開催 時期 7月～12月 全5回 参加者延人数37名 参加満足者延人数35名	若手後継者	指標	セミナー参加者延人数 (達成度 74.0 %)	指標	セミナー参加満足者延人数 (達成度 87.5 %)	愛知県SDGs登録制度を通じて、参加事業者の事業と社会・環境の未来を見据えた取り組みを検討することで、セミナー参加者及び青年部員の資質向上を図ることができた。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 必要性 A B	満足度 A B	補足	目標① 下げる 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	翌年度も青年部員の資質向上に資する全5回のセミナーを開催する。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。

※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。

※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。